

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 伊丹

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>現在の管内市町の高齢化率は県平均と同レベルであるが、今後は高齢者数が増える見込みであり、フレイル・低栄養予防に向けた食支援体制の充実が必要である。</p> <p>令和6年度の診療報酬・介護報酬改定では、医療施設と介護施設間の栄養管理情報連携の推進を評価する加算がそれぞれ新設され、病院・施設間の連携強化が求められている。これを地域で推進するには、平成30年度に作成した川西市・猪名川町内の病院・施設で提供されている嚥下調整食の食形態及び呼称を共有するツール「食形態マップ」の活用が有効と考えられ、タイムリーな情報更新と栄養士以外の関係職種にも活用しやすくするため、昨年度に従来の紙媒体の一覧表からWeb上で閲覧が可能な形に移行したところである。</p> <p>しかし、在宅介護支援者等への周知はできておらず、地域包括ケアシステムの推進を図るためにも上記ツールを広く周知するための取り組みが必要となっている。また、療養者は川西・猪名川エリア以外の近隣市へも転入所(院)するため、近隣市の病院・施設との情報共有についても検討していく必要がある。</p>
今年度の推進方策	<p>高齢者等への食支援を進めるための連携体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none">・病院－施設間連携を推進するためのツールの活用拡大の検討・在宅介護支援者等への情報提供(ツールの周知と活用啓発)
成果	<p>キントーンを活用した「食形態Webマップ」に伊丹市内の病院・高齢者施設情報を追加掲載することにより、伊丹健康福祉事務所管内の病院・高齢者施設の食形態情報を一元化して閲覧可能となった。また、宝塚健康福祉事務所と調整して宝塚市・川西市・伊丹市・猪名川町の病院・施設代表を招集した情報交換会を開催し、現時点での情報交換と今後の情報共有の方向性について協議することができた。</p> <p>ケアマネ等の関係他職種への情報提供方法として食形態Webマップの紹介と活用を促すためのリーフレットを作成し、各施設および市町地域包括支援センターへ配布した。</p>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">・作成したリーフレット活用等による関係機関への周知・阪神北圏域での情報共有を図るための継続した情報交換の場の設定

2 会議の開催状況

実施日時	令和7年5月2日 15:00～16:00
参集者 (団体数及び人数)	1団体 7名
協議内容	<ul style="list-style-type: none">・高齢者等の食支援に関するツールの有効活用方法・地域への周知方法
今後の方策	<ul style="list-style-type: none">・Webマップへの掲載施設数拡大の検討・Webマップ活用に向けた関係機関への周知

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	医療施設と介護施設間の栄養管理情報連携の推進		
対象及び参加者数	川西地区給食研究会会員栄養士 3名・公衆栄養学臨地実習生 15名 伊丹給食研究会会員 11施設14名 伊丹給食研究会会員 19施設 川西地区給食研究会会員 26施設・管内市町地域包括支援センター 3カ所		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	令和7年6月24日、 8月6日～8月15日、 10月30日、 令和8年1月5日 伊丹健康福祉事務所 他	食形態Webマップ周知用リーフレット案の検討	川西地区給食研究会 役員 伊丹健康福祉事務所 栄養士
	令和7年8月26日 14:00～16:00 伊丹健康福祉事務所	・説明「川西猪名川食形態Webマップについて」「食形態Webマップの閲覧・更新方法」 ・意見交換	特養 湯々館 管理栄養士 乾悦子 伊丹健康福祉事務所 栄養士
	令和7年10月～ 令和8年2月 伊丹市内病院・高齢者施設	Web版食形態マップの情報更新（最新情報への修正更新、写真画像アップロード）	伊丹健康福祉事務所 栄養士
	令和7年3月	食形態 Web マップ周知用リーフレット配布	伊丹健康福祉事務所 栄養士
成 果	<p>【成果】</p> <p>・これまで食形態情報が共有化できていなかった伊丹市内の病院・高齢者施設について、昨年度作成した食形態Webマップに情報登録することにより、伊丹健康福祉事務所管内の病院・高齢者施設の食形態情報が一元化できた。</p> <p>・宝塚健康福祉事務所に情報共有を呼び掛け、管外近隣市との情報共有方法を検討できた。</p> <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <p>・伊丹市内病院・施設の情報掲載施設数：19施設/21施設（90.5%）</p>		
今後の課題	<p>掲載情報に変更が生じた場合は健康福祉事務所を介さず施設自らが随時更新できる形にしているが、最新情報に更新できているかを確認するため、数年に1度の間隔で確認依頼を行うことも検討する。また、Webマップの掲載項目は各施設の業務負担を考慮して絞り込んでいるが、より詳しい情報の掲載を望む声が多く上がってくれば、掲載項目の追加を検討する。</p> <p>阪神北圏域での病院・高齢者施設食形態情報交換のあり方について宝塚健康福祉事務所と協議し、今後の方向性を検討する。</p>		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

医療施設・介護施設間の食事情報共有化に向けて

令和7年度健やか食育プロジェクト事業

○背景

病院や高齢者施設では嚥下調整食が提供されているが、その形態や呼称は施設独自で設定されている。地域包括ケアシステムの推進に向けて療養者の栄養管理・食支援を円滑に行うためには、各施設の嚥下調整食の形態および呼称を共有することが肝要となる。

*昨年度の取り組み(健やか食育プロジェクト1年目)

令和元年度に作成した川西市・猪名川町に所在する病院・施設の嚥下調整食一覧表(食形態マップ)をより活用しやすくするため、Web移行を検討。デジタル改革課に相談し、Kintone でフォームを作成して各施設で最新情報に更新後、Web サイトを公開。

メリット:登録施設が随時更新するため常に最新情報を閲覧可能、インターネット上で閲覧可能なので在宅療養者(ケアマネ等)の活用が期待できる

*今年度の取り組み(健やか食育プロジェクト2年目)

○今年度会議

地域での「食形態 Web マップ」活用推進を図るため方法を検討。関係機関・関係職種にマップの存在を周知するためのリーフレット作成と近隣市への情報提供を軸に、掲載施設拡大に向けた働きかけも行うこととした。

○今年度実践活動

実践活動① リーフレット案の検討

- ・配布対象、盛り込みたい内容を整理
- ・公衆栄養学臨地実習生の課題としてリーフレット案を作成
- ・作成した案を参考に病院・施設勤務栄養士に意見聴取しながら加筆修正

配布対象	盛り込みたい内容
在宅医療・介護関連機関の職員	・食形態調整の必要性 ・嚥下食の種類、形態 ・共通言語(嚥下調整食コード)の説明
病院・施設内の他職種	・転入所時の食形態情報の読み替え方 ・嚥下調整食コード別の詳細

実践活動② 近隣市への情報提供

- ・伊丹市内の病院・高齢者施設に食形態 Web マップを説明し、掲載希望有無を確認
- ・宝塚健康福祉事務所を窓口、宝塚市・三田市へ情報提供
宝塚健康福祉事務所と共催で情報交換会を開催し、阪神北圏域での情報共有方法について意見交換

実践活動③ 追加施設の情報登録と Web ページの改善

- ・Web マップ掲載希望のあった伊丹市内の病院・施設の情報を追加登録
- ・Web ページ施設一覧の視認性を高めるため、ページデザインを変更
(変更前)

川西・播磨川・伊丹 食形態Webマップ～医療・介護施設間の食事情報共有ツール～

施設名	電話番号	所在地	No.1 (伊丹市)	No.2 (伊丹市)	No.3 (伊丹市)	No.4 (伊丹市)
伊丹リハビリテーション病院	2025-10-20 13:57	伊丹市				
第二総合病院	2025-01-26 15:37	川西市				
生駒病院	2025-07-27 22:52	播磨川町				(11-3)
鴻巣荘	2025-03-26 11:16	川西市				
鴻巣荘	2025-04-19 15:37	川西市				2キキサー
鴻巣荘ゆらホーム	2024-11-25 14:57	川西市			別2キキサー	別2キキサー
正徳病院	2024-11-14 11:42	川西市	別2キキサー			
東播クリニック	2025-10-20 13:58	伊丹市				別2キキサー
聖一医院	2025-11-01 13:10	伊丹市			2キキサー	
深田病院	2025-11-25 16:22	伊丹市	別2キキサー			別2キキサー

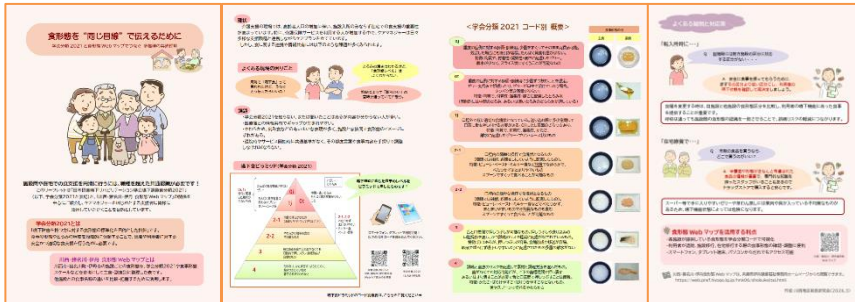
(変更後)



閲覧ページをリストビュー形式からカードビュー形式に変更することで、閲覧したい目的の施設を探しやすくなった。

実践活動④ リーフレット配布

- ・Web マップ掲載施設および関係機関へリーフレットを配布
(在宅医療・介護関連機関の職員向け)



食形態に関する基本的考え方と食形態 Web マップを紹介する内容 (A3 二つ折り)

(病院・施設内の他職種向け)



転入所時等に施設間で食形態変換を行う際の使い方を紹介(A4)

当初は2種類のリーフレットを対象により使い分ける方針だったが、病院・施設内の他職種にも食形態に関する基本的考え方の啓発が必要なケースがあるとの意見を受け、両者をセットで配布することとした。

○今後の方向性

- ・Web マップに掲載している情報をより詳細にしてほしいとの要望があれば、項目追加を検討する。
- ・在宅医療・介護関連機関に Web マップを周知し、活用を進める。
- ・阪神北圏域での病院・高齢者施設の食形態情報交換のあり方について、宝塚健康福祉事務所と協議して方向性を検討する。